



新聞購読 お申し込み
+500円で、デジタルも

デジタル版 お申し込み
PC、スマホで

愛読者セット

デジタル毎日

毎日新聞

写真 動画 有料会員向け

検索

毎日新聞社 総合案内 宅配申込 会員メニュー ログイン

トップ 社会 政治 経済 国際 サイェンス スポーツ オピニオン カルチャー ライフ 教育 地域 English 紙面ビューアー

総合 速報 紙面掲載記事 サンデー毎日 デジタル毎日スペシャル

[PR] 雇用統計動向をチェック/JFX

シンポジウム

県内にも女性ホームレス 「貧困」の背景、家庭に 経済的に自立できる仕組みを 立命館大准教授ら講演 /宮城

毎日新聞 2016年1月25日 地方版

宮城県

女性が家庭内外で貧困状態に陥っている実態を報告するシンポジウム「女性ホームレスにみる『貧困』と『排除』の現実」が24日、仙台市青葉区で開かれた。厚生労働省の調査で昨年報告された県内の路上生活者117人のうち5人が女性だったことや、その背景に家庭における男性の経済支配があることなどが紹介された。【本橋敦子】

女性ホームレスについて調査研究している丸山里美・立命館大准教授と、仙台市で路上生活者支援を行うNPO法人「仙台夜まわりグループ」事務局次長の青木淳子さんがパネリストを務め、市民ら約40人が真剣な表情で聴き入った。

丸山准教授は、全国的には路上生活者の3%を女性が占めるが、地方都市では東京や大阪に比べその比率が高くなっている状況を紹介。さらに家庭に入っても夫に生活費をもらえなかったり、自身の貯金がなかったり

りと貧困状態にある女性が多くおり、離婚した途端に経済的に行き詰まる構図があると指摘した。

離婚調停中に生活保護を申請した女性が「離婚が成立していないから」と認められなかった例を紹介し、「世帯内で所得が平等に分配されていることを前提に政策が行われており、女性が自立して生きていくことができるよう仕組みを変えていく必要がある」と語った。

NPO法人の青木淳子さんは東日本大震災後に女性が抱える問題について報告。同法人が仙台市内で確認した女性路上生活者の数に増加は見られなかった

講演する青木淳子さん（手前）の話を熱心に聞く参加者＝仙台市青葉区のエルソーラ仙台で

[PR]

1～3月限定

JA共済

アンケートにお答え頂いた方
先着1,000名様に

アンパンマンの
BOXティッシュを
セット(5箱)で
プレゼント!

詳しくはこちら ▶

1日30分で年2億ですよ!

今後あなたが
継続して稼げるように
神王リョウが
全てを教えます!

神王リョウの投資マスター講座

無料で受講する



毎日新聞のアカウント

のマークについて

Timeline

52

0

0

ピックアップ

PR ストレスチェック義務化の課題
職場の信頼を生む「共感」のコミュニケーションとは?

PR 美肌も 疲労回復も 冷え性も ストレス発散も!
欲張りな温泉「塩原・板室」

話題の記事

スマホ低料金プラン
通信量少なければ恩恵

クローズアップ2016
甘利氏辞任(その1) 政権、屋台骨失う

清原容疑者
長嶋氏激励に背筋を伸ばす 先月のイベント

powered by CXENSE

ランキング

清原元選手

逮捕 自宅で覚醒剤所持容疑 警視庁